

令和4年度
主要な施策の成果

京都府宇治田原町

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)5 財産管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>3 役場庁舎跡地整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	<p>62,625</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">62,625</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">62,625</td> </tr> </table>	当初予算額	62,625	補正予算額等	-	合計	62,625	<p>48,919,118</p>	<p>旧役場庁舎跡地(荒木)について、建物を解体後、売却することから、建物解体工事をはじめ、法面復旧工事、敷地用地測量、庭木等の移設などを行った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧役場庁舎解体工事(令和4年度執行額) 40,790,000円 (契約額：67,980,000円) <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要 建築物解体工事(延床面積：2,024.1㎡) 電気設備撤去工事 機械設備撤去工事 ・建物概要 旧庁舎本館(A棟) RC造一部S造 3階建て1,123㎡ 旧庁舎本館(B棟) S造 2階建て 159㎡ 旧庁舎別館 S造 2階建て 358㎡ 旧庁舎車庫棟 S造 2階建て 188㎡他 ○旧役場庁舎解体附带工事 1,369,500円 (法面復旧工事) ○旧役場庁舎解体工事監理業務 3,247,200円 ○旧役場庁舎敷地用地測量業務 2,883,100円 ○旧役場庁舎庭木等移設業務 499,400円 ○関西電力電気設備移転補償ほか 129,918円 	<p>企画財政課</p>
当初予算額	62,625									
補正予算額等	-									
合計	62,625									

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>5 行政改革・行政評価推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.59)</p>	<p>206</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">336</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">△ 130</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">206</td> </tr> </table>	当初予算額	336	補正予算額等	△ 130	合計	206	<p>158,240</p>	<p>健全な財政運営を確立するための効果的・効率的な取組の推進項目、目標等を明らかにするとともに、「スマート自治体」の実現に向けた方針や具体的な取組についても定め、「宇治田原町DX基本計画」を包含する形で第7次行政改革大綱を策定した。(計画期間：令和5年度～令和9年度)</p> <p>〈策定経過〉</p> <p>○行政改革懇談会(外部諮問組織) 大綱及び実施計画策定にあたり、審議を行う諮問機関として7名の委員で構成。(京都府立大学公共政策学部教授・窪田好男会長)／計3回開催。</p> <p>○行政改革推進本部会議(庁内組織) 計画の方向性や基本的な考え方を定める本部会議(町長以下、理事者及び所属長)、具体的な取組を検討するワーキンググループ(係長等実務者)を合わせて設置。／本部会議3回、ワーキンググループ会議3回開催。</p> <p>○その他の意見聴取等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケート：全職員を対象に行政改革に対する意識調査、取組提案の募集。(R4. 6. 30～R4. 7. 11) ・職員パブコメ：全職員を対象に大綱案に関する意見、指標等に対する提案の募集。(R4. 10. 31～R4. 11. 11) ・パブリックコメント：計画案に関する意見を町HP、町内公共施設等への配架を通じて募集。(R4. 12. 14～R5. 1. 13)／意見：5件 <p>〈実施計画〉</p> <p>行政改革大綱で定める三つの柱(①持続可能な財政基盤の構築 ②職員イノベーションと組織マネジメント ③スマート自治体への転換)に沿った具体的な取組と評価指標を実施計画(カエルプラン)に落とし込み、年度ごとに実施すべき事項を明らかにしながら行政改革の着実な推進に努める。</p>	<p>企画財政課</p>
当初予算額	336									
補正予算額等	△ 130									
合計	206									

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																			
6 ふるさと納税推進事業費 (歳入歳出決算書 P.59)	102,989 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 100,000 補正予算額等 2,989 合計 102,989	101,677,496	ふるさと納税を通じて、地域ブランドのPRとまちの知名度アップ、地域産業の活性化を推進するとともに、未来を担う子どもたちへの事業展開のための寄附増収を図った。 さらに、地域資源の掘り起し・見える化により地域ブランド力を高めることで、シビックプライドの醸成に努めた。 (内容) ○返礼品について、新規事業者の掘り起こしや既存事業者への提案などコミュニケーションを深め、60事業者、400品目超に拡充。 事業者説明会：R4.5.27、参加14人 ○サイト掲載内容のブラッシュアップや特色ある使いみち(未来挑戦隊チャレンジャー育成プロジェクト)を含めた発信など、訴求力を強化。 ○コロナ禍におけるふるさと納税を通じた地域経済の活性化や事業者の販路拡大を図るため、サイトの特別有料PRなどを実施。 ○維孝館中学校(2・3年生)のまちづくり授業等においてふるさと納税の取組を紹介。生徒たちのまちづくりへの関心を深めるとともにシビックプライドの醸成を図った。 (参考)主な経緯 ※H20制度開始 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額*</th> <th>返礼品数</th> <th>経過等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,151件</td> <td>21,585千円</td> <td>131品目</td> <td>▶4月～クレジット[※]支払開始</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,684件</td> <td>42,775千円</td> <td>210品目</td> <td>▶11月～[さとふる]利用開始</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,634件</td> <td>95,106千円</td> <td>240品目超</td> <td>▶9月～[拡充8サイト]利用開始</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8,119件</td> <td>137,615千円</td> <td>250品目超</td> <td>▶全12サイトへ拡充</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9,755件</td> <td>176,895千円</td> <td>320品目超</td> <td>▶全11サイトに集約</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11,012件</td> <td>208,157千円</td> <td>400品目超</td> <td>▶返礼品を400品目超に拡充</td> </tr> </tbody> </table> *表中の金額は千円未満四捨五入	年度	件数	金額*	返礼品数	経過等	H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶4月～クレジット [※] 支払開始	H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶11月～[さとふる]利用開始	R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶9月～[拡充8サイト]利用開始	R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶全12サイトへ拡充	R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶全11サイトに集約	R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶返礼品を400品目超に拡充	企画財政課
年度	件数	金額*	返礼品数	経過等																																			
H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶4月～クレジット [※] 支払開始																																			
H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶11月～[さとふる]利用開始																																			
R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶9月～[拡充8サイト]利用開始																																			
R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶全12サイトへ拡充																																			
R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶全11サイトに集約																																			
R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶返礼品を400品目超に拡充																																			

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 59)</p>	<p>1,663</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,963</p> <p>補正予算額等 △ 300</p> <p>合計 1,663</p>	<p>1,644,898</p>	<p>移住定住の推進に向け、「ハートのまち」他のコンセプトを積極的に打ち出すシティプロモーションを展開した。</p> <p>◇移住定住プロモーション</p> <p>○移住定住のコンセプト「うじたわらいく」ポータルサイト等によるプロモーションを展開。</p> <p>○移住定住(関係人口)と観光振興の一体的なプロモーションとして俳優の夏菜さんを起用した「旅色FO-CAL」(※)宇治田原町特集を公開。</p> <p>(※)WEB上での動画、電子雑誌の公開のほか、紙冊子の作成による多メディア発信媒体。</p> <p>○「旅色FO-CAL」動画・冊子をNEXCO西日本高速道路サービスエリア内に掲出広告。(R4.7~8月/R4.12~R5.1月)</p> <p>○「旅色FO-CAL」の公開に合わせ、SNSを活用した関係人口「宇治田原地域ファンバンク」(町の公式アンバサダー「うじたわLIKE」)スキームを構築。既移住定住者の“今”の発信と地域ファンの発信募集。</p> <p>◇ハートのまちPR自治体との連携</p> <p>○同じく「ハートのまち」を標榜する沖縄県南城市と事務担当者WEB会議を実施。情報共有を進める。</p> <p>◇その他</p> <p>○府主催の移住セミナーへの参画を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月11日(日), グランフロント大阪/相談件数=4組6名 ・12月3日(土), 京都産業会館ホール/相談件数=5組9名 <p>委託料：660,000円(ポータルサイト保守・運営業務)</p> <p>役務費：885,060円(高速道路SA広告掲出)</p> <p>通信運搬費等その他：99,838円(冊子郵送料等)</p>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
<p>5 デジタル防災行政無線整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.59)</p>	<p>27,280</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>27,280</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27,280</td> </tr> </table>	当初予算額	27,280	補正予算額等	-	合計	27,280	<p>27,280,000</p>	<p>アナログ防災行政無線(移動系)の老朽化、及び新スプリアス規格不適合の対策として、発災時における通信の確保、情報収集及び伝達の円滑化、防災活動の迅速性・正確性の向上を図るため、無線のデジタル化を行った。</p> <p>〈事業概要〉</p> <p>①移動系親局(基地局)設備の整備</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>整備箇所</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役場本庁舎</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>②移動系無線設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車載型無線機 役場本庁舎に配備している公用車3台にそれぞれ設置 ・携帯型無線機 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>整備箇所</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役場本庁舎等</td> <td>16台</td> </tr> <tr> <td>各消防器具庫(10箇所)</td> <td>20台</td> </tr> </tbody> </table> <p>③既設設備の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原町役場 親局(基地局)設備、基地局無線機1台 車載型無線機3台、携帯型無線機10台 ・各消防器具庫 携帯型無線機20台 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周波数：260MHz ・方式：2周波半複信方式 	整備箇所	台数	役場本庁舎	1台	整備箇所	台数	役場本庁舎等	16台	各消防器具庫(10箇所)	20台	<p>総務課</p>
当初予算額	27,280																			
補正予算額等	-																			
合計	27,280																			
整備箇所	台数																			
役場本庁舎	1台																			
整備箇所	台数																			
役場本庁舎等	16台																			
各消防器具庫(10箇所)	20台																			

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>4 JR奈良線高速化・複線化事業費補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>35,063</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">35,063</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">35,063</td> </tr> </table>	当初予算額	35,063	補正予算額等	-	合計	35,063	<p>35,038,544</p>	<p>鉄軌道を利用する本町住民の利便性向上に資するため、京都府及び近隣市町と一体的に、西日本旅客鉄道株式会社が実施するJR奈良線の高速化・複線化第二期工事を支援した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○事業負担額 34,952,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体 西日本旅客鉄道株式会社 ・事業概要 JR藤森駅～JR宇治駅、JR新田駅～JR城陽駅間の複線化 JR六地藏駅の構内改良 ・事業費及び負担割合 事業費：10,000,000千円 負担割合：JR西日本 38.1%、京都府 30.9% 関係市町 30.9%(うち、本町負担0.3%) <p>○開業記念式典関係経費 86,544円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R5.3.19(日)午前10時～11時 ・会場：ホテルグランヴィア京都 ・その他：京都府、沿線市町で費用負担(均等割) <p>〈参考〉</p> <p>○JR奈良線 全延長=34.7km</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一期整備延長〈H9年度～H13年度〉 8.2km ・第二期整備延長〈H25年度～R6年度〉 14.0km 	<p>まちづくり 推進課</p>
当初予算額	35,063									
補正予算額等	-									
合計	35,063									

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 公共交通利用推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>11,313</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 11,865</p> <p>補正予算額等 △ 552</p> <p>合計 11,313</p>	<p>11,262,676</p>	<p>持続可能な「新しい地域公共交通」の構築を進め、基幹公共交通機関である路線バスへの接続と維持確保を前提とした公共交通の利用促進を図るとともに、地域公共交通活性化再生法に基づき、地域実情を踏まえた「地域公共交通計画」を策定した。</p> <p>※町内の公共交通を区域運行「予約型乗合タクシー」と公共空白地有償運送「町営バスの再編・有償化」の二つの有償運行を併用した体系として構築、運行。</p> <p>○地域公共交通会議を地域公共交通活性化法に基づく法定協議会(町地域公共交通活性化協議会/6回開催)に改組。</p> <p>○地域公共交通計画の策定(※パブリックコメントの実施)</p> <p>○「新しい地域公共交通」の構築 地域別住民説明会・利用体験会、停留ポイント警察協議等</p> <p>○「新しい地域公共交通」開始に係る周知 改正版「公共交通利用案内」の作成、配布 (町営・路線バス時刻表、予約型乗合タクシー利用方法等)</p> <p>〈参考〉</p> <p>○町営バス利用促進[H29年度～] ・R4. 8. 26(金) デコレーションバス車両の運行 ・R4. 12. 23(金)クリスマス企画・乗車プレゼント</p> <p>○緑苑坂路線バス利用券補助[R1年度～R4年度(9月末)] ・緑苑坂地域発着の路線バス運賃の一部を補助 利用数:734枚(大人714枚・小人20枚)</p> <p>○奥山田・湯屋谷地域への路線バス延伸支援[H29年度～] ・R4. 4. 2(土)～R4. 12. 11(日)87日間(土日祝日のみ運行) 利用者数：7,002人</p> <p>・委託料：5,247,000円(新しい地域公共交通検討構築業務) ・負担金補助及び交付金：5,686,220円 (町公共交通活性化協議会、京都京阪バス(株)ほか) ・報償費等その他：329,456円(地域説明会有識者報償等)</p>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 町営バス運行事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>13,979</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 13,752</p> <p>補正予算額等 227</p> <p>合計 13,979</p>	<p>13,814,231</p>	<p>地域住民の日常的な交通手段を確保するため、町が主体の定時定路線バスを運行した。また、令和4年10月以降は道路運送法に基づき交通空白地有償運送へ移行するとともに、スクールバスをうじたわLIKE(らいくはーと)バスの運行ダイヤに組み込み、一体的に運行した。</p> <p>◇町営バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運行ダイヤ <ul style="list-style-type: none"> 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ○運行経路及び運行便数 <ul style="list-style-type: none"> ①禅定寺～銘城台(11便/日)②立川～銘城台(13便/日) ③高尾(6便/日)※週2回(火・金) ○近年の利用実績 <ul style="list-style-type: none"> ・R1年度 15,447人 ・R2年度 11,576人□ ・R3年度 9,258人 ・R4年度 4,559人(4～9月) <p>◇うじたわLIKE(らいくはーと)バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗車料金 <ul style="list-style-type: none"> 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り) ○運行日等 <ul style="list-style-type: none"> 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> スクールバスをダイヤに組込 (対象児童・生徒は無償、地域住民も混乗利用可) <p>・委託料：11,204,780円(京都京阪バス(株)に運行委託)</p> <p>・燃料費：1,417,917円</p> <p>・修繕費：547,030円</p> <p>・その他：644,504円(車検等)</p>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>8 デマンド型乗合タクシー運行事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>3,110</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 4,437</p> <p>補正予算額等 △ 1,327</p> <p>合計 3,110</p>	<p>2,052,401</p>	<p>住民の交通利便性を高めるため、デマンド型(予約制)乗合タクシーとなる「うじたわLIKE(らいくはーと)タクシー」を運行した。</p> <p>令和4年9月までは旧コミュニティバス運行地域のみであったが、10月からは町営バスの再編に合わせ運行区域を拡大。</p> <p>○乗車料金 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り)</p> <p>○運行日 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ※旧コミュニティバス運行地域のみ、一部地域負担により休日も運行</p> <p>○運行拡大区域 高尾全域、南、立川、岩山、郷之口の一部</p> <p>○運行実績 ・R4年度 1,178人□ ※うち実証運行期間(4～9月) 実績596人</p> <p>・委託料 : 1,251,981円(4～9月:山城ヤサカ交通株) 780,620円(10～3月:宇治第一交通株)</p> <p>・消耗品等 : 19,800円</p>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>10 地域公共交通事業者支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>820</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">820</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">820</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	820	合計	820	<p>820,000</p>	<p>長引くコロナ禍による利用者の減少と原油価格高騰の影響による運行負担額の増加を余儀なくされている町内唯一の運行路線のバス事業者が、更なる減便をすることなく乗合バス事業を円滑に継続できるよう、路線バスを町外への主要な公共交通機関とする本町独自の支援策として、緊急かつ一時的な補助を行った。</p> <p>〈内容〉 京都京阪バス株が原油価格高騰による影響を自社の営業努力(人件費、事務費等削減)と経営改善(運賃改定等)を図ってもなお生じる負担額相当額のうち、他自治体からの支援と重複しない路線距離該当分の支援を行った。</p> <p>○地域公共交通事業者支援事業費 補助額：820,000円 町内を営業路線とする「新田辺宇治田原線」の本町内の年間営業走行距離をR3年度の10あたり走行距離で除し、10あたり燃料価格高騰単価差を乗じる。</p> <p>令和4年度町内年間営業距離 $91,401.6\text{km} \div 2.74\text{km}/\text{0} \times (103.03\text{円}/\text{0} - 78.46\text{円}/\text{0})$ (※) (※)燃料価格高騰負担額相当差額</p> <p>〈参考〉 本補助金は、これまでにない原油価格高騰という事態を受けた緊急かつ一時的な事業者支援として実施。</p>	<p>まちづくり 推進課</p>
当初予算額	-									
補正予算額等	820									
合計	820									

(款)2 総務費 (項)3 戸籍住民基本台帳費 (目)1 戸籍住民基本台帳費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>2 コンビニ交付導入事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.63)</p>	<p>9,512</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 11,724 補正予算額等 △ 2,212 合計 9,512〕</p>	<p>9,446,963</p>	<p>マイナンバーカードを利用して、コンビニ店舗等で住民票の写し・印鑑登録証明書を取得できるシステムを構築し、住民の利便性向上と証明書交付事務の効率化を図り、行政のデジタル化を推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンビニ交付システム構築 ○基幹業務支援システムコンビニ交付対応 ○クラウドコンビニ交付ネットワーク環境構築 等 ○サービス開始日：R5.3.13 <p>〈実績〉</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住民票の写し</td> <td style="text-align: right;">30件</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証明書</td> <td style="text-align: right;">23件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">53件</td> </tr> </table>	令和4年度		住民票の写し	30件	印鑑登録証明書	23件	計	53件	<p>税住民課</p>
令和4年度												
住民票の写し	30件											
印鑑登録証明書	23件											
計	53件											
<p>6 転出・転入届ワンストップ化システム導入事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.63)</p>	<p>1,034</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 1,034 補正予算額等 - 合計 1,034〕</p>	<p>1,033,450</p>	<p>マイナンバーカードを利用して、マイナポータルからオンラインで転出届と転入予約を同時に行えるシステムを導入し、転出・転入手続きの時間短縮化、ワンストップ化を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基幹業務支援システムの改修 ○サービス開始日：R5.2.6 <p>〈実績〉</p> <p>令和4年度：8件</p>	<p>税住民課</p>								

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 障がい者自立支援給付等事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	298,713 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 291,207 補正予算額等 7,506 合計 298,713	290,674,876	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい者等が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。 1. 障がい支援区分認定 〈認定調査19件、主治医意見書19件、審査会委託19件〉 535,200円 2. 自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 〈1,571件〉 228,720,104円 3. 自立支援医療給付 〈705件〉 11,446,648円 4. 障がい児通所給付 〈633件〉 37,681,838円 5. 補装具給付(額には町単費助成含む) 〈23件〉 1,876,693円 6. 軽・中等度難聴児支援 〈2件〉 25,440円 7. 障がい者福祉サービス等利用支援(国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施) 〈343件〉 2,167,228円 8. その他(障がい福祉サービスシステム改正・保守委託料等) 8,221,725円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 障がい者地域生活支援事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	10,286 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 11,074 補正予算額等 △ 788 合計 10,286 〕	9,122,084	障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。 1. 障がい者生活支援センター委託 〈3事業所〉 1,730,000円 2. 移動支援事業 〈21名、949時間利用〉 2,342,544円 3. 日中一時支援事業 〈5名、250時間利用〉 248,225円 4. 日常生活用具給付事業 〈358件〉 3,694,051円 5. 訪問入浴サービス事業 〈1名 79回〉 1,107,264円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>35 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>33,180</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 33,180</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 33,180</p>	<p>6,182,793</p>	<p>「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある方々の生活・暮らしを支援するため、住民税非課税世帯等に「住民税非課税世帯等への臨時特別給付金」を支給した。</p> <p>○支給対象世帯</p> <p>①令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯</p> <p>②家計が急変し、上記①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>○支給額 1世帯当たり 100,000円</p> <p>〈実績〉</p> <p>○支給額等 5,700,000円 非課税世帯 57世帯</p> <p>※令和3年度臨時特別給付金事業 支給世帯数合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯 718世帯 / 787世帯 = 91.2% (返送等率 = 95.3%) ・家計急変世帯 2世帯 / 2世帯 = 100.0% <p>○事務費 482,793円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等 	<p>福祉課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>36 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費 (歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>13,129 (参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">13,129</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">13,129</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	13,129	合計	13,129	<p>13,128,549</p>	<p>コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある方々の生活・暮らしの支援措置の強化として、住民税非課税世帯等に「住民税非課税世帯等への臨時特別給付金」を支給した。</p> <p>○支給対象世帯 ①令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ②家計が急変し、上記①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>○支給額 1世帯当たり 100,000円</p> <p>〈実績〉 ○支給額等 9,500,000円 非課税世帯 94世帯 / 101世帯 = 93.1% (返送等率 = 94.1%) 家計急変世帯 1世帯 / 1世帯 = 100.0%</p> <p>○事務費 3,628,549円 ・電算システム開発委託料 ・会計年度任用職員報酬 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等</p>	<p>福祉課</p>
当初予算額	-									
補正予算額等	13,129									
合計	13,129									

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>37 住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>47,700</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">47,700</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">47,700</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	47,700	合計	47,700	<p>40,767,546</p>	<p>電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、価格高騰による家計への影響が特に大きい世帯に対する支援策として、住民税非課税世帯等に対し「価格高騰緊急支援給付金」を支給した。</p> <p>○支給対象世帯</p> <p>①令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯</p> <p>②家計が急変し、上記①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>○支給額 1世帯当たり 50,000円</p> <p>〈実績〉</p> <p>○支給額等 37,900,000円</p> <p style="padding-left: 20px;">非課税世帯 749世帯 / 812世帯 = 92.2%</p> <p style="padding-left: 40px;">(返送等率 = 94.2%)</p> <p style="padding-left: 20px;">家計急変世帯 9世帯 / 9世帯 = 100.0%</p> <p>○事務費 2,867,546円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電算システム開発委託料 ・職員時間外勤務手当 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等 	<p>福祉課</p>
当初予算額	-									
補正予算額等	47,700									
合計	47,700									

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
<p>38 高齢者・障がい者施設等事業所物価高騰対策支援金交付事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>2,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	2,000	合計	2,000	<p>2,000,000</p>	<p>コロナ禍での原油価格・物価高騰等に直面する中、高齢者施設及び障がい者施設が利用者負担を増やすことなく、介護サービス及び障がい福祉サービスの安定的な提供の継続を支援するため、「高齢者・障がい者施設等事業所物価高騰対策支援金」を交付した。</p> <p>○交付対象者</p> <p>① 宇治田原町内で介護サービス事業所または介護保険施設を運営している事業者</p> <p>② 宇治田原町内で障がい福祉サービス事業所を運営している事業者</p> <p>○交付対象経費：電気料金</p> <p>○交付対象期間：令和4年3月から令和5年2月(12か月間)</p> <p>○交付額：前年同月と比較して増加した電気料金の概ね1/2</p> <p>〈実績〉</p> <p>○支給額等</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>①介護サービス事業所</td> <td style="text-align: center;">5施設</td> <td style="text-align: right;">1,367,000円</td> </tr> <tr> <td>②障がい福祉サービス事業所</td> <td style="text-align: center;">7施設</td> <td style="text-align: right;">633,000円</td> </tr> </table>	①介護サービス事業所	5施設	1,367,000円	②障がい福祉サービス事業所	7施設	633,000円	<p>福祉課</p>
当初予算額	-															
補正予算額等	2,000															
合計	2,000															
①介護サービス事業所	5施設	1,367,000円														
②障がい福祉サービス事業所	7施設	633,000円														

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>12 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>1,025</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,426</p> <p>補正予算額等 △ 401</p> <p>合計 1,025</p>	<p>977,081</p>	<p>住民の健康寿命を延伸し、住み慣れた地域で生きがいを持ち安心して暮らし続けるため、新たに関係課連携のもと、専門職による高齢者の地域の通いの場へ訪問のほか、健康状態不明者等への個別支援により、高齢者の健康づくりを推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>(1) 個別支援(ハイリスクアプローチ)</p> <p>後期高齢者医療の情報から対象者の抽出を行い、電話や訪問で面談等を実施。必要な場合は保健指導や関係機関との連携を行い、適切な医療・支援につないだ。</p> <p>① 健康状態不明者等への面談 18名</p> <p>② 電話での保健・栄養指導 59名</p> <p>(2) 通いの場への積極的関与等(ポピュレーションアプローチ)</p> <p>町内14か所の通いの場に医療専門職が関与し、健康教育・健康相談のほか、気軽に相談できる環境づくりを行った。</p> <p>① 通いの場への訪問 計31回訪問</p> <p>② 健康教育・相談、啓発 計9回実施</p> <p>③ フレイル状態の把握・予防啓発 18名</p>	<p>健康対策課</p>

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																						
<p>5 育児用品購入助成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>940</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当初予算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">940</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">940</td> </tr> </table>	当初予算額	940	補正予算額等	-	合計	940	<p>898,827</p>	<p>乳児の子育てに係る保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進することを目的とし、おむつ等の育児用品の購入費用を助成した。</p> <p>〈対象者〉 1歳未満の子どもを扶養している保護者</p> <p>〈助成内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おむつ関連用品(紙おむつ等) ○授乳関連用品(粉ミルク等) ○その他の育児用品(離乳食容器等) <p>〈助成金額〉 1人1回上限2万円 ※助成上限2万円のうち、町外の商店等での購入分は1万円が上限。</p> <p>〈事業周知の方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件を満たす方への個別通知、出生・転入等の手続き時に個別に窓口での案内、HP・町広報紙・宇治田原町就学までの「子育て支援のしおり」への掲載等により、本事業の周知を行った。 ○申請期限を明記した領収書(レシート)袋の配布や、申請期限前の電話による個別案内をするなど、申請漏れの無いよう勸奨に努めた。 <p>〈事業実績〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者数</td> <td>44人</td> <td>40人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>児童者数</td> <td>44人</td> <td>41人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>872,069円</td> <td>819,232円</td> <td>898,827円</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	保護者数	44人	40人	45人	児童者数	44人	41人	45人	助成金額	872,069円	819,232円	898,827円	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	940																									
補正予算額等	-																									
合計	940																									
	R2	R3	R4																							
保護者数	44人	40人	45人																							
児童者数	44人	41人	45人																							
助成金額	872,069円	819,232円	898,827円																							

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課														
<p>14 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>6,620</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">6,620</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">6,620</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	6,620	合計	6,620	<p>5,551,420</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。</p> <p>〈対象児童等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基準日(令和4年3月31日)時点で18歳未満の児童(障がい児の場合、20歳未満) ○令和4年4月から令和5年2月末までに生まれた新生児 <p>〈支給対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上記の対象児童を養育する父母等であり、令和4年度分の住民税(均等割)が非課税である者 ○令和4年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった者 <p>〈支給額〉</p> <p>児童1人あたり 50,000円</p> <p>〈支給方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①児童手当受給者 支給する旨の通知を行った後、一定期間内に受給拒否届出がなければ口座振込(申請不要) ②その他(高校生年代、新生児、公務員等) 対象者による支給申請後、指定口座に振込 <p>〈総支給額〉</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 児童手当受給者</td> <td style="text-align: right;">45件</td> <td style="text-align: right;">86名分</td> <td style="text-align: right;">4,300,000円</td> </tr> <tr> <td>② その他</td> <td style="text-align: right;">9件</td> <td style="text-align: right;">13名分</td> <td style="text-align: right;">650,000円</td> </tr> </table> <p>〈事務費〉</p> <p>601,420円</p>	① 児童手当受給者	45件	86名分	4,300,000円	② その他	9件	13名分	650,000円	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	-																	
補正予算額等	6,620																	
合計	6,620																	
① 児童手当受給者	45件	86名分	4,300,000円															
② その他	9件	13名分	650,000円															

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課														
<p>15 うじたわらっ子家計応援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>13,360</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">13,360</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">13,360</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	13,360	合計	13,360	<p>13,359,244</p>	<p>電力・ガス・食料品等価格高騰による子育て世帯の負担軽減を図るため、高校生世代までの乳幼児・児童・生徒等の養育者に対し、町内共通商品券を配布した。</p> <p>〈支給対象者〉 ○町内に住民票のある高校生世代までの子どもを養育している保護者</p> <p>〈対象児童等〉 ○平成16年4月2日から令和4年9月30日までに生まれた子ども ○令和4年10月1日から令和5年3月31日までに生まれた新生児 ○令和4年10月1日から令和5年3月31日までに転入した子ども</p> <p>〈配布物〉 ○子ども1人あたり 1万円の町内共通商品券</p> <p>〈配布方法〉 ○簡易書留による郵送</p> <p>〈事業実績〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">区分</th> <th style="width: 40%;">R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯数</td> <td>733世帯</td> </tr> <tr> <td>児童・生徒数</td> <td>1,286人</td> </tr> <tr> <td>総支給額</td> <td>12,860,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈事務費〉 499,244円</p>	区分	R4	世帯数	733世帯	児童・生徒数	1,286人	総支給額	12,860,000円	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	-																	
補正予算額等	13,360																	
合計	13,360																	
区分	R4																	
世帯数	733世帯																	
児童・生徒数	1,286人																	
総支給額	12,860,000円																	

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																							
<p>4 保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>971</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>971</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>971</td> </tr> </table>	当初予算額	971	補正予算額等	-	合計	971	<p>969,398</p>	<p>このまちだからこそできる飛びぬけた保育の推進を目的として、町立保育所に通所する児童を対象に、サーキット運動をはじめとした運動遊びを日常的に取り入れるとともに、体育指導の専門家による体育教室や町内サッカー指導者によるサッカー教室を実施した。</p> <p>(内容)</p> <p>○サッカー教室 対象：4,5歳児</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>○体育教室 対象：5歳児</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サーキット運動(サーキット遊具：R2.10.23購入) 対象：2～5歳児(記録は3～5歳児)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">年度当初</th> <th colspan="2">年度末</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>成功者数</th> <th>成功率</th> <th>成功者数</th> <th>成功率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>43人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>41人</td> <td>13人</td> <td>31.7%</td> <td>16人</td> <td>39.0%</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>43人</td> <td>24人</td> <td>55.8%</td> <td>28人</td> <td>65.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <p>令和2年10月にサーキット遊具を導入して以後、毎日15分程度のサーキット遊びを活動の中に取り入れることで、身体の使い方が上手くなり、逆上がりや雲梯のできる児童が増加した。また、保育所職員が専門家による実践指導を受けることで、児童の意欲を高める関わり等の指導スキルアップを図った。</p>	年度	R1	R2	R3	R4	回数	11	4	4	9	年度	R1	R2	R3	R4	回数	16	14	6	14		年度当初			年度末		児童数	成功者数	成功率	成功者数	成功率	3歳児	43人	0人	0.0%	0人	0.0%	4歳児	41人	13人	31.7%	16人	39.0%	5歳児	43人	24人	55.8%	28人	65.1%	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	971																																																										
補正予算額等	-																																																										
合計	971																																																										
年度	R1	R2	R3	R4																																																							
回数	11	4	4	9																																																							
年度	R1	R2	R3	R4																																																							
回数	16	14	6	14																																																							
	年度当初			年度末																																																							
	児童数	成功者数	成功率	成功者数	成功率																																																						
3歳児	43人	0人	0.0%	0人	0.0%																																																						
4歳児	41人	13人	31.7%	16人	39.0%																																																						
5歳児	43人	24人	55.8%	28人	65.1%																																																						

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																			
2 うじたわらウォーキング(walk・筋・ing)応援事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	260 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 260 補正予算額等 - 合計 260	88,733	<p>健康寿命の延伸と生活の質の向上を図り、生活習慣病予防や次世代の介護予防につなげることを目的に、青年期・壮年期を対象に、運動を中心とした健康増進活動に興味・関心を持っていただき、自主的に運動する機会を増やす取り組みを行った。</p> <p>〈対象者〉 町在住の18歳以上で運動制限を受けていない方</p> <p>(1) ノルディックウォーキング体験</p> <table border="1" data-bbox="1061 612 1910 876"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.7.7(木)</td> <td>13名 (託児2名)</td> <td rowspan="3">専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技を行った。</td> </tr> <tr> <td>R4.10.6(木)</td> <td>16名 (託児2名)</td> </tr> <tr> <td>R4.12.3(土)</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ノルディックウォーキング 専用のポールを適切に使用してウォーキングすることで、一般的なウォーキングより30～40%高いカロリーを消費し、効果的な有酸素運動が可能。</p> <p>(2) ちょいトレ筋活教室</p> <table border="1" data-bbox="1061 1075 1910 1307"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.9.15(木) ※7月実施回は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止。</td> <td>14名</td> <td>町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による家庭で継続的に取り組める筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニング双方のメニューに係る講座を開催。</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加人数	内 容	R4.7.7(木)	13名 (託児2名)	専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技を行った。	R4.10.6(木)	16名 (託児2名)	R4.12.3(土)	17名	計	46名		実施日	参加人数	内 容	R4.9.15(木) ※7月実施回は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止。	14名	町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による家庭で継続的に取り組める筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニング双方のメニューに係る講座を開催。	健康対策課
実施日	参加人数	内 容																					
R4.7.7(木)	13名 (託児2名)	専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技を行った。																					
R4.10.6(木)	16名 (託児2名)																						
R4.12.3(土)	17名																						
計	46名																						
実施日	参加人数	内 容																					
R4.9.15(木) ※7月実施回は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止。	14名	町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による家庭で継続的に取り組める筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニング双方のメニューに係る講座を開催。																					

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>15 水道事業会計負担金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>57,038</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">14,059</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">42,979</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">57,038</td> </tr> </table>	当初予算額	14,059	補正予算額等	42,979	合計	57,038	<p>56,858,949</p>	<p>【物価高騰対策水道料金減免事業】 コロナ禍での原油価格・物価高騰に直面する水道利用者の負担軽減を図るため、水道料金の基本料金を減免した。</p> <p>〈概要〉 減免の対象とした請求月 ・偶数月検針地区 (郷之口、南、荒木、高尾、銘城台) 令和4年10月、12月、令和5年2月請求分 ・奇数月検針地区 (立川、岩山、禪定寺、湯屋谷、奥山田、緑苑坂) 令和4年11月、令和5年1月、3月請求分</p> <p>〈事業費〉 32,805,949円</p> <p>【水道事業電気料金高騰対策支援事業】 水道事業に係る電気料金増額分を一般会計からの負担金として支援を行ったことで、水道料金への価格転嫁を抑制し、水道利用者の負担を軽減した。</p> <p>〈概要〉 令和4年度中の水道事業における電気料金増額分の約9割を支援。</p> <p>〈事業費〉 9,994,000円</p> <p>【その他】 飲料水供給事業及び簡易水道事業統合に係る負担金</p> <p>〈事業費〉 14,059,000円</p>	<p>上下水道課</p>
当初予算額	14,059									
補正予算額等	42,979									
合計	57,038									

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課														
<p>17 出産・子育て応援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>6,285</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">6,285</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">6,285</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	6,285	合計	6,285	<p>6,285,000</p>	<p>妊娠届や出生届が提出された妊婦等に対し、出産育児関連用品等の購入に係る経済的支援を行うとともに、ニーズに即した相談等に応じる伴走型支援を行った。</p> <p>〈支給対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○妊娠届を提出した妊婦 ○出生届が提出された児童の母親または父親等 ○妊娠届提出：現金5万円 ○出生届提出：現金5万円 <p>〈支給方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支給申請書を提出後、指定口座に振込 ※妊娠・出産時期による遡及支給 <p>〈総支給額〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">区分</th> <th style="width: 40%;">R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出産応援支援金</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> <tr> <td>子育て応援支援金</td> <td style="text-align: right;">37人</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td style="text-align: right;">4,350,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈事務費〉</p> <p style="padding-left: 20px;">1,935,000円</p>	区分	R4	出産応援支援金	50人	子育て応援支援金	37人	助成金額	4,350,000円	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	-																	
補正予算額等	6,285																	
合計	6,285																	
区分	R4																	
出産応援支援金	50人																	
子育て応援支援金	37人																	
助成金額	4,350,000円																	

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																		
<p>1 新型コロナウイルス感染症予防対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.77)</p>	<p>56,747</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>19,566</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>37,181</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>56,747</td> </tr> </table>	当初予算額	19,566	補正予算額等	37,181	合計	56,747	<p>50,259,279</p>	<p>新型コロナウイルスワクチンの全額公費負担による特例臨時接種について、国の方針に従い速やかに着実な接種体制を確保のうえ、京都府や綴喜医師会等と連携を図り、前年度からの追加接種の継続及び、新たに4回目追加接種並びにオミクロン株対応ワクチン接種を実施した。</p> <p>○接種内容等</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>接種対象期間</th> <th>対象者の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>追加接種 (3回目)</td> <td>R3. 12. 1 ～ R5. 3. 31</td> <td>2回目接種後、原則6か月以上を経過した(当初)18歳以上の者(現行)5歳以上の者</td> </tr> <tr> <td>追加接種 (4回目)</td> <td>R4. 5. 25 ～ R5. 3. 31</td> <td>3回目接種後、5か月以上を経過した60歳以上の者、基礎疾患を有する者、医療従事者等</td> </tr> <tr> <td>オミクロン 株対応接種</td> <td>R4. 9. 20 ～ R5. 5. 7</td> <td>初回接種後、3か月以上を経過した12歳以上の者</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接種体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団接種…役場庁舎 ・ 個別接種…かかりつけ医療機関等 <p>○接種率(R5. 3月末現在)</p> <p style="text-align: right;">※ワクチン接種記録システム(VRS)より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目…85.28% ・ 2回目…84.89% ・ 3回目…71.05% ・ 4回目…48.57% ・ 5回目…28.64% 	内 容	接種対象期間	対象者の概要	追加接種 (3回目)	R3. 12. 1 ～ R5. 3. 31	2回目接種後、原則6か月以上を経過した(当初)18歳以上の者(現行)5歳以上の者	追加接種 (4回目)	R4. 5. 25 ～ R5. 3. 31	3回目接種後、5か月以上を経過した60歳以上の者、基礎疾患を有する者、医療従事者等	オミクロン 株対応接種	R4. 9. 20 ～ R5. 5. 7	初回接種後、3か月以上を経過した12歳以上の者	<p>健康対策課</p>
当初予算額	19,566																					
補正予算額等	37,181																					
合計	56,747																					
内 容	接種対象期間	対象者の概要																				
追加接種 (3回目)	R3. 12. 1 ～ R5. 3. 31	2回目接種後、原則6か月以上を経過した(当初)18歳以上の者(現行)5歳以上の者																				
追加接種 (4回目)	R4. 5. 25 ～ R5. 3. 31	3回目接種後、5か月以上を経過した60歳以上の者、基礎疾患を有する者、医療従事者等																				
オミクロン 株対応接種	R4. 9. 20 ～ R5. 5. 7	初回接種後、3か月以上を経過した12歳以上の者																				

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																										
<p>1 新型コロナウイルス感染症予防対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.77)</p>	<p>3,253</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,253</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,253</td> </tr> </table>	当初予算額	3,253	補正予算額等	-	合計	3,253	<p>2,066,272</p>	<p>満5歳から11歳の小児の新型コロナウイルスワクチン接種について、国の方針に従い、京都府や綴喜医師会等と連携を図り、接種を実施した。</p> <p>※12歳から15歳の児童並びに年度途中から開始された6か月から4歳以下の幼児に対しても接種を行った。</p> <p>〈接種体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集団接種：役場庁舎、保健センター ○個別接種：医療機関 <p>〈接種率〉 (R5.3.31現在)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か月～4歳</td> <td>3.3%</td> <td>2.9%</td> <td>1.3%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5歳～11歳</td> <td>27.6%</td> <td>27.6%</td> <td>11.6%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12歳～15歳</td> <td>72.9%</td> <td>72.9%</td> <td>53.3%</td> <td>21.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1回目	2回目	3回目	4回目	6か月～4歳	3.3%	2.9%	1.3%	-	5歳～11歳	27.6%	27.6%	11.6%	-	12歳～15歳	72.9%	72.9%	53.3%	21.9%	<p>子育て支援課</p>
当初予算額	3,253																													
補正予算額等	-																													
合計	3,253																													
区分	1回目	2回目	3回目	4回目																										
6か月～4歳	3.3%	2.9%	1.3%	-																										
5歳～11歳	27.6%	27.6%	11.6%	-																										
12歳～15歳	72.9%	72.9%	53.3%	21.9%																										

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
11 高収益作物次期作支援事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	6,400 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 8,250 補正予算額等 △ 1,850 合計 6,400〕	6,088,000	新型コロナウイルスの影響による需要の減少により市場価格が低落するなどの影響を受けた野菜、花き、果樹、茶等の高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援するため、次期作の高収益作物耕作面積に応じ補助金を交付した。 〈概要〉 ○対象者 新型コロナウイルス等の影響を受ける前と比較し、令和4年の高収益作物の売上が減少し、次期作に向けた取り組みを行う町内在住の生産者 ○交付件数 42件 ○交付金額 6,088,000円	産業観光課
13 燃料油等価格高騰対策補助金 (歳入歳出決算書 P.83)	1,993 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 - 補正予算額等 1,993 合計 1,993〕	1,993,000	コロナ禍において原油価格高騰に直面する農林業者の支援を行い、多大な影響が及んでいる地域経済を下支えするとともに、町内事業者の活性化につなげていくため「燃料油等価格高騰対策補助金」を支給した。 〈概要〉 事業活動に係る燃料費(重油・ガソリン・軽油・灯油・ガス)について、価格高騰により多大な負担が増えた個人事業者、町内法人に対し、負担が増えた金額の1/2を補助。(上限20万円) ○支給件数 11件 ○支給金額 1,993,000円	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)5 農地費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 ため池管理事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.83)	3,600 (参考:予算現額内訳) 〔 当初予算額 3,600 補正予算額等 - 合計 3,600 〕	2,684,000	「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」により指定された防災重点農業用ため池について、ハザードマップを作成した。 (概要) ○ため池ハザードマップ作成 2池(外ヶ谷池、勝谷池) 2,684,000円	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 林道整備等事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	10,657 (参考:予算現額内訳) 〔 当初予算額 11,098 補正予算額等 △441 合計 10,657 〕	2,077,528	林道の安全性・走行性や防災機能の向上を図るため、林道の改良や維持管理を実施した。 (概要) ◇地方創生道整備推進交付金事業(林道分) ○測量設計業務委託(御林山線) 1,265,000円 ・設計概要:法面改良、排水路改良 ◇その他の林道維持管理 ○側溝清掃委託料等 812,528円	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 森林経営管理事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	8,228 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 8,323 補正予算額等 △ 95 合計 8,228 〕	8,228,000	平成31年4月に森林経営管理法が施行されたことに伴い、新たに森林所有者・林業者・町による森林の経営管理を確保することを目的に、森林所有者への意向調査と現地調査、経営管理権集積計画の作成を行った。 〈概要〉 ○意向調査対象者：25名 ○経営管理権集積計画作成件数：2件	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
<p>1 有害鳥獣対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>4,138</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,138</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,138</td> </tr> </table>	当初予算額	4,138	補正予算額等	-	合計	4,138	<p>3,541,648円</p>	<p>有害鳥獣による農林作物等の被害が増加する中、被害の軽減及び防除対策が必要なことから、有害鳥獣駆除及び被害防止の各種対策に取り組み、被害の縮小に努めた。</p> <p>〈概要〉</p> <p>○有害獣駆除事業 1,507,000円 野生鳥獣による農林作物被害に対し、綴喜郡猟友会宇治田原支部に捕獲委託を行い、有害鳥獣の駆除を行った。</p> <p>(駆除の実績) (単位：頭)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サル</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>14</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>35</td> <td>76</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <p>○宇治田原町有害鳥獣対策協議会補助金 1,500,000円</p> <p>○狩猟免許取得助成 51,400円(3件)</p> <p>○その他追い払い道具等 483,248円</p>	種別	H30	R1	R2	R3	R4	サル	11	2	2	4	0	イノシシ	14	36	2	0	9	シカ	58	56	35	76	82	<p>産業観光課</p>
当初予算額	4,138																																	
補正予算額等	-																																	
合計	4,138																																	
種別	H30	R1	R2	R3	R4																													
サル	11	2	2	4	0																													
イノシシ	14	36	2	0	9																													
シカ	58	56	35	76	82																													

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 まちを元気にするプレミアム商品券発行事業費補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>19,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,000</td> </tr> </table>	当初予算額	19,000	補正予算額等	-	合計	19,000	<p>19,000,000</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域住民及び地域商業の活性化対策として、プレミアム商品券の発行・販売に係る経費の補助を実施した。</p> <p>〈概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○購入対象者の要件 宇治田原町住民 ○販売額 1セット10,000円(券面額13,000円) 対象者1人につき、5セットまで購入可 ○使用可能期間 R4.8.7～R5.1.31 ○商品券販売期間 第1次販売(予約販売)R4.8.7～8.12 第2次販売(追加販売)R4.8.29～8.30 ○販売金額 第1次販売(予約販売) 40,970,000円 第2次販売(追加販売) 9,030,000円 合計 50,000,000円 ○販売セット数 5,000セット 	<p>産業観光課</p>
当初予算額	19,000									
補正予算額等	-									
合計	19,000									

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																						
2 宇治田原コロナ対策事業者支援補助金 (歳入歳出決算書 P.87)	1,700 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 2,000 補正予算額等 △ 300 合計 1,700	1,657,000	新型コロナウイルスの影響により売上が減少した町内の中小企業者や小規模企業者を支援するため、事業継続に向けた取組経費の一部を補助した。 (概要) R4年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタル対応</td> <td>2件</td> <td>112千円</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染防止対策</td> <td>5件</td> <td>433千円</td> </tr> <tr> <td>販路拡大</td> <td>5件</td> <td>417千円</td> </tr> <tr> <td>設備導入</td> <td>8件</td> <td>695千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20件</td> <td>1,657千円</td> </tr> </tbody> </table> (過去3か年実績) (R1)宇治田原まちの元気な企業応援事業費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業成長応援事業</td> <td>8件</td> <td>2,268千円</td> </tr> <tr> <td>経営改善事業</td> <td>11件</td> <td>1,648千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19件</td> <td>3,916千円</td> </tr> </tbody> </table> (R2)宇治田原まちの元気な企業応援事業費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路開拓、新製品等開発支援事業</td> <td>2件</td> <td>797千円</td> </tr> <tr> <td>経営改善事業</td> <td>9件</td> <td>1,122千円</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業</td> <td>25件</td> <td>3,598千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36件</td> <td>5,517千円</td> </tr> </tbody> </table> (R3)宇治田原コロナ対策企業応援事業費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路開拓、新製品等開発支援事業</td> <td>1件</td> <td>240千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1件</td> <td>240千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	件数	金額	デジタル対応	2件	112千円	新型コロナウイルス感染防止対策	5件	433千円	販路拡大	5件	417千円	設備導入	8件	695千円	計	20件	1,657千円	区分	件数	金額	企業成長応援事業	8件	2,268千円	経営改善事業	11件	1,648千円	計	19件	3,916千円	区分	件数	金額	販路開拓、新製品等開発支援事業	2件	797千円	経営改善事業	9件	1,122千円	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	25件	3,598千円	計	36件	5,517千円	区分	件数	金額	販路開拓、新製品等開発支援事業	1件	240千円	計	1件	240千円	産業観光課
区分	件数	金額																																																								
デジタル対応	2件	112千円																																																								
新型コロナウイルス感染防止対策	5件	433千円																																																								
販路拡大	5件	417千円																																																								
設備導入	8件	695千円																																																								
計	20件	1,657千円																																																								
区分	件数	金額																																																								
企業成長応援事業	8件	2,268千円																																																								
経営改善事業	11件	1,648千円																																																								
計	19件	3,916千円																																																								
区分	件数	金額																																																								
販路開拓、新製品等開発支援事業	2件	797千円																																																								
経営改善事業	9件	1,122千円																																																								
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	25件	3,598千円																																																								
計	36件	5,517千円																																																								
区分	件数	金額																																																								
販路開拓、新製品等開発支援事業	1件	240千円																																																								
計	1件	240千円																																																								

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>8 燃料油等価格高騰対策補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 89)</p>	<p>2,491</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">2,491</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,491</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	2,491	合計	2,491	<p>2,491,000</p>	<p>コロナ禍において原油価格高騰に直面する商工業者の支援を行い、多大な影響が及んでいる地域経済を下支えするとともに、町内事業者の活性化につなげていくため「燃料油等価格高騰対策補助金」を支給した。</p> <p>〈概要〉 事業活動に係る燃料費(重油・ガソリン・軽油・灯油・ガス)について、価格高騰により多大な負担が増えた個人事業者、町内法人に対し、負担が増えた金額の1/2を補助。(上限20万円)</p> <p>○支給件数 13件</p> <p>○支給金額 2,491,000円</p>	<p>産業観光課</p>
当初予算額	-									
補正予算額等	2,491									
合計	2,491									

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 お茶の京都観光まちづくり推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.89)</p>	<p>3,992</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">5,226</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">△ 1,234</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">合計</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">3,992</td> </tr> </table>	当初予算額	5,226	補正予算額等	△ 1,234	合計	3,992	<p>3,262,004</p>	<p>観光振興計画の推進及び観光によるまちづくりの実現を図るため、観光振興計画に位置づけられた観光魅力の創出に関する取り組みの支援、観光情報発信の充実に向けた観光ポータルサイトの運営を行った。</p> <p>〈概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おうちで利き茶大会～茶香服への挑戦～ <ul style="list-style-type: none"> ・茶香服セット 応募者数：469名 当選者数：150名 【募集期間】 R4. 11. 14～11. 30 ※ふるさとまつり実行委員会助成金 690,000円 ○お茶の京都DMO関係事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「お茶の京都」プレミアムバスツアー等 ・宇治やんたんライナー&やんたんライナーコネク の運行(土・休日のみ運行) 宇治やんたんライナー R4. 10. 8～12. 11 コネク R4. 7. 16～9. 4/R4. 10. 8～12. 11 ・全国お茶まつり京都大会 PRブースの設置 R4. 11. 19～11. 20 ※お茶の京都DMO分担金 1,370,000円 ○「家康伊賀越えの道」PRチラシ・のぼり作成 179,770円 ○観光ポータルサイト保守・運営委託料 360,000円 ○その他観光啓発PR事業等 662,234円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都タワー、うぐいす宇治田原幼稚園連携事業 (茶摘み、タワー前PRイベント) ・PR広告掲出事業(京阪「丹波橋駅」) ・その他パンフレット印刷等 	<p>産業観光課</p>
当初予算額	5,226									
補正予算額等	△ 1,234									
合計	3,992									

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)1 道路橋梁総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 宇治田原山手線整備促進住民会議助成金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>600</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当初予算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">600</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">600</td> </tr> </table>	当初予算額	600	補正予算額等	-	合計	600	<p>600,000</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議に活動助成金を交付するとともに、その活動を支援した。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回四役会(R4.8.1：商工センター) <ul style="list-style-type: none"> ・役員会の日程及び議案等について ○第1回役員会(R4.8.29：商工センター) <ul style="list-style-type: none"> ・任期満了に伴う役員改選について ・令和3年度事業報告について ・令和3年度収入支出決算について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度収入支出予算について ○「宇治田原山手線促進だより」発行(R4.9) ○第2回四役会(R4.11.7：商工センター) <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動の実施について ・要望活動について ・役員会の開催について ○一斉啓発活動(R4.12.2：役場庁舎前宇治田原山手線) <ul style="list-style-type: none"> ・町内各所に横断幕とのぼり旗を設置 ○京都府知事へ要望書を提出(R5.1.17：京都府庁) <ul style="list-style-type: none"> ・要望書を提出 <p><事業経過></p> <p>平成26年2月10日設立。町内での一斉啓発活動、京都府知事への要望活動、京都府との意見交換会などを実施している。</p>	<p>まちづくり推進課</p>
当初予算額	600									
補正予算額等	-									
合計	600									

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 宇治田原山手線整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>126,852</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 111,531</p> <p>補正予算額等 15,321</p> <p>合計 126,852</p>	<p>95,510,529</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の道路新設を行った。</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内) L=420m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交差点設計業務委託料 495,000円 ・宇治田原山手線(新市街地)道路工事施工委託料 52,979,000円 <p>※一般国道307号(宇治田原山手線)道路整備事業に関連する工事として京都府へ工事施工委託。</p> <p>○宇治田原山手線(立川・岩山地内) L=2,100m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府施行都市計画事業市町村負担金□ 15,321,000円 <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 26,713,669円 <p>※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路(株)へ工事施工委託。</p> <p>○事務費 1,860円</p> <p>〈事業経過〉</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1 道路用地鑑定評価業務 ・R2 公有財産購入 3名 ・R2～R5 京都府へ工事委託 <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26 詳細設計業務 ・H27 物件調査業務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(16名) ・H28 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務 公有財産購入(3名) ・H29 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名) 電気設備の移転補償 ・H30 電気設備の移転補償 ・H29～R5 西日本高速道路(株)へ工事委託 ・R 2 禅定寺工事しゅん工 	<p>まちづくり推進課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>20,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 61,000</p> <p>補正予算額等 △ 41,000</p> <p>合計 20,000</p>	<p>5,965,300</p>	<p>宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、令和3年度に実施した予備設計を基に詳細設計等を実施し宇治田原工業団地線の整備促進を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計延長 L=390m <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細設計(本線ルート) ・ 詳細設計(工事用道路ルート) ・ 取付道路・大型用排水路設計 ・ 交差点設計 ・ ボーリング調査 ○ 測量作業 A=9,500㎡ <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空レーザー測量 ・ 数値図化 ・ 河川測量 	<p>建設環境課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 町道新設改良事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	106,251 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 56,951 補正予算額等 49,300 合計 106,251〕	59,470,317	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈工事〉 ○郷之口末山線舗装改良工事 舗装工 4,221,400円 ○郷之口高尾線法面改良工事(その1) 法面工 31,452,300円 ○道路・水路改修工事(1)側溝工他 4,990,700円 ○道路・水路改修工事(2)側溝工他 4,024,900円 ○道路・水路改修工事(3)側溝工他 2,950,000円 ○奥山田天神社線道路改良工事 擁壁工他 4,943,300円 ○長山地区排水路改良工事 側溝工 5,566,000円 ○岩山立川線歩道整備工事(その1) 管渠工他 49,700円 〈用地買収費〉 ○町道2の2号線用地買収 1,060,580円 〈その他事務費〉 211,437円	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>4 道路施設長寿命化修繕事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>28,592</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">28,592</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">28,592</td> </tr> </table>	当初予算額	28,592	補正予算額等	-	合計	28,592	<p>18,876,320</p>	<p>道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。</p> <p>◇橋梁長寿命化修繕 (工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○嘉納橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 1,564,200円 ○杉谷5号橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 113,200円 <p>(業務委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇治田原町管理橋梁定期点検業務委託 7,285,300円 <p>◇道路舗装修繕 (工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○禅定寺通学路線他舗装修繕工事 舗装工 9,908,800円 <p>〈その他事務費〉 4,820円</p>	<p>建設環境課</p>
当初予算額	28,592									
補正予算額等	-									
合計	28,592									

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>5 宇治田原山手線整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>55,213</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">55,213</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">55,213</td> </tr> </table>	当初予算額	55,213	補正予算額等	-	合計	55,213	<p>55,212,600</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の道路新設を行った。</p> <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 55,212,600円 ※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路(株)へ工事施工委託。 <p>〈事業経過〉</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1 道路用地鑑定評価業務 ・R2 公有財産購入 3名 ・R2～R5 京都府へ工事委託 <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26 詳細設計業務 ・H27 物件調査業務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(16名) ・H28 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務、公有財産購入(3名) ・H29 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気設備の移転補償 ・H30 電気設備の移転補償 ・H29～R5 西日本高速道路(株)へ工事委託 ・R2 禅定寺工事しゅん工 	<p>まちづくり推進課</p>
当初予算額	55,213									
補正予算額等	-									
合計	55,213									

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 町道新設改良事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.93)	40,000 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 40,000 補正予算額等 - 合計 40,000〕	38,627,900	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈工事〉 ○郷之口末山線舗装改良工事 舗装工 17,627,900円 ○岩山立川線歩道整備工事(その1) 20,000,000円 管渠工他 ○奥山田天神社線道路改良工事 擁壁工他 1,000,000円	建設環境課
7 道路施設長寿命化修繕事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.93)	12,000 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 12,000 補正予算額等 - 合計 12,000〕	12,000,000	道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。 ◇橋梁長寿命化修繕 〈工事〉 ○嘉納橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 11,000,000円 ○杉谷5号橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 1,000,000円	建設環境課

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 空家等総合対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.95)</p>	<p>1,678</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 3,408</p> <p>補正予算額等 △ 1,730</p> <p>合計 1,678</p>	<p>721,530</p>	<p>平成29年度に策定した「空家等対策計画」に基づき、町内の空家等の適正な管理と利活用、移住定住促進するための総合的な取組を推進し、令和5年3月には今までの取組を総括・検証する空家等対策を一層推進するため、「第2期空家等対策計画」に改定した。</p> <p>〈支援制度・活用方策〉</p> <p>○宇治田原町空家バンク運営 平成28年度に(公社)京都府宅地建物取引業協会と締結した協定に基づくマッチングを推進。(令和4年度1件掲載。延べ18件掲載・11件成約、25人が移住。)</p> <p>○「うじたわらいく」お試し住宅□ 平成30年度に南区内の空家を活用・整備し開設した「うじたわらいく」お試し住宅を運営。(R4年度入居4世帯。延べ13世帯が入居、うち2世帯が移住。)</p> <p>○管理不全空家等除却支援事業 平成30年度創設の管理不全空家等除却支援事業補助金により町内の危険な空家について、所有者による除却を促した。(令和4年度実績なし。延べ9件交付。)</p> <p>〈推進体制等〉</p> <p>○宇治田原町空家等対策協議会(計10名)□ 空家等特措法に基づく協議会を継続設置・運営。 [7.26(火)、11.26(火)、R5.2.24(金)] ※計画改定のため3回開催。</p> <p>○京都司法書士会との連携 令和元年度に「空家対策に係る連携協定」を締結。空家所有者等への情報提供と個別相談支援の体制を確保。</p> <p>〈主な事業費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費：172,000円(空家対策協委員報酬) ・使用料及び賃借料：144,000円(お試し住宅賃借料) ・委託料：66,000円(お試し住宅管理委託) 他 	<p>まちづくり推進課</p>

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)2 公園費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 新市街地都市公園整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.95)</p>	<p>39,659</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">3,659</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">36,000</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">合計</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">39,659</td> </tr> </table>	当初予算額	3,659	補正予算額等	36,000	合計	39,659	<p>314,160</p>	<p>住民の日常的な公園機能とあわせて、災害時の緊急避難場所ともなる防災機能を有する都市公園を、役場庁舎に隣接した場所に整備するために、整備工事等を行った。</p> <p>○災害用マンホールトイレ購入 314,160円</p> <p>〈事業経過〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 基本計画(案)に対するパブリックコメント実施、基本計画策定、調整池設計業務、地質調査業務、土壌調査業務 ・ H30 用地測量業務、公有財産購入(4名)、都市公園用地鑑定評価業務、調整池整備工事、基本設計・実施設計策定業務、既設井戸能力調査業務 ・ R1 公有財産購入(1名)、耐震性貯水槽設置工事 ・ R2 敷地造成、建築確認申請 ・ R3 敷地造成、建築工事、水路等整備工事、電気設備工 	<p>まちづくり推進課</p>
当初予算額	3,659									
補正予算額等	36,000									
合計	39,659									

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)2 公園費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 新市街地都市公園整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.95)</p>	<p>161,502</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">161,502</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">161,502</td> </tr> </table>	当初予算額	161,502	補正予算額等	-	合計	161,502	<p>136,418,000</p>	<p>住民の日常的な公園機能とあわせて、災害時の緊急避難場所ともなる防災機能を有する都市公園を、役場庁舎に隣接した場所に整備するために、整備工事等を行った。</p> <p>〈実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原中央公園建築工事監理業務委託料 2,603,700円 ・宇治田原中央公園建築工事(その2) 4,992,900円 ・宇治田原中央公園建築工事(その3) 16,215,100円 ・宇治田原中央公園建築工事(その4) 1,280,400円 ・宇治田原中央公園造成工事(その4) 23,950,300円 ・宇治田原中央公園施設整備工事 43,181,600円 ・宇治田原中央公園植栽工事(その1) 38,658,400円 ・宇治田原中央公園防災設備工事 5,428,500円 <p>○事務費 107,100円</p> <p>〈事業経過〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 基本計画(案)に対するパブリックコメント実施、基本計画策定、調整池設計業務、地質調査業務、土壤調査業務 ・ H30 用地測量業務、公有財産購入(4名)、都市公園用地鑑定評価業務、調整池整備工事、基本設計・実施設計策定業務、既設井戸能力調査業務 ・ R1 公有財産購入(1名)、耐震性貯水槽設置工事 ・ R2 敷地造成、建築確認申請 ・ R3 敷地造成、建築工事、水路等整備工事、電気設備工事 	<p>まちづくり推進課</p>
当初予算額	161,502									
補正予算額等	-									
合計	161,502									

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)1 常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 高機能消防指令システム部分更新事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	37,549 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 37,549 補正予算額等 - 合計 37,549 〕	36,459,313	京田辺市消防本部で実施される高機能消防指令システム部分更新事業に係る経費を負担した。 〈内容〉 24時間365日運用する高機能消防指令システムについて、機器等の部分更新を実施することにより、システムの安定稼働の維持を図った。 ①耐用年数を超過した機器等の交換 ②消防救急デジタル無線不感エリアへの対策としてIP無線を導入 ③119番受信用電話回線のIP化及びサービスの停止が予定されているFOMA回線への対応	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)2 非常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 女性消防団員確保事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	782 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 782 補正予算額等 - 合計 782 〕	642,400	消防団員のサラリーマン化により、特に昼間における地域防災力の低下が課題となる中、女性による細やかな配慮ができるなど、消防団における多様な人材活用として女性消防団員の確保を図った。 〈周知方法〉□ ○募集チラシ配布 各地区回覧板による全戸配布、宇治田原工業団地管理組合を通じて各企業への配布、町内飲食店・コンビニ店内での店内掲示 ○個別勧誘 町内婦人防火クラブ員、役場等女性職員、大学生 〈女性団員数〉 7名(R5.3.31現在)	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 消防ポンプ自動車更新事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	<p>55,550</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔 当初予算額 57,420 補正予算額等 △ 1,870 合計 55,550 〕</p>	<p>55,550,000</p>	<p>常備消防力の維持・強化を図ることを目的に、消防車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車の更新を行った。</p> <p>〈車両名〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-1型) <p>〈車両概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総排気量 4,000cc ・燃料 軽油 ・駆動方式 四輪駆動 ・全長 574cm ・全幅 193cm ・全高 300cm <p>〈装置・装備品〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ装置(水ポンプ・真空ポンプ) 一式 ・圧縮空気泡消火装置(CAFS装置) 一式 ・水槽(600L) 1基 ・ホースカー自動昇降装置 一式 ・三連梯子昇降装置 一式 ・坂道発進補助装置 一式 ・加納式ホースカー(電動) 1台 ・三連梯子 一式 ・その他消防用器材等 一式 	<p>総務課</p>

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 小中一貫教育推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>157</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 445</p> <p>補正予算額等 △ 288</p> <p>合計 157</p>	<p>66,525</p>	<p>維孝館学園において、義務教育9年間にわたる系統的、継続的で充実した特色ある小中一貫教育に向け、事業の推進を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○維孝館学園小中一貫部会(学園企画会議)を中心に小小連携、小中連携を推進した。 ○義務教育9年間を見据え小学校、中学校の円滑な接続を図るための取組みを行った。 ○教職員研修の充実を図るとともに、義務教育9年間を見据えた学習・指導の充実を図った。 ○ICTを活用した小中一貫教育の推進を図った。 ○保護者及び地域住民等の学校運営への参画促進や連携強化を図り「協働型」の地域連携について研究した。 <p>非営利型一般社団法人 日本LGBT協会 代表理事 清水展人氏を講師に、教職員夏季研修大会「人権教育」を実施。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>4 寺子屋「うじたわら学び塾」運営事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>361</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">361</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">361</td> </tr> </table>	当初予算額	361	補正予算額等	-	合計	361	<p>271,677</p>	<p>小中学生を対象に教育環境の充実や郷土愛の醸成を図り、地域ぐるみ・町ぐるみによる学びの向上を推進するため、教職員退職者や有識者及び次代を担う大学生など幅広い年齢層のスタッフのもと、夏・冬休み等に寺子屋「うじたわら学び塾」を開講し、継続的に人がつながる学びの場を創出した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○夏季事業 「英語」「漢字」「夏の学び」をテーマに6講座を実施。 延べ参加者 257人</p> <p>○冬季事業 「英語」「漢字」「冬の学び」「運動スキル」をテーマに8講座を実施。 延べ参加者 190人</p> <p>○企画調整会、運営協議会を各2回開催。</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	361									
補正予算額等	-									
合計	361									

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																
1 高校生通学費補助金 (歳入歳出決算書 P.101)	20,975 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 20,975 補正予算額等 - 合計 20,975 〕	15,495,500	高校等にバス通学する生徒の保護者の負担軽減を図るため、通学費の一部助成を行った。(令和2年8月分から補助率改定) ○補助対象者数及び補助金額 <table border="1" data-bbox="1081 478 1910 678"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請者実人数</td> <td>222人</td> <td>203人</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>合計補助金額</td> <td>22,362,400円</td> <td>17,383,700円</td> <td>15,459,500円</td> </tr> <tr> <td>郵送料</td> <td>32,000円</td> <td>32,000円</td> <td>36,000円</td> </tr> </tbody> </table> ○補助率ごとの割合 ・令和2年7月分まで <table border="1" data-bbox="1081 810 1910 1042"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円以下)</td> <td>50.9%</td> <td>34.2%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>②学期定期券購入額相当分の2/3を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円超)</td> <td>17.7%</td> <td>14.4%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>①学期定期券購入額相当分の1/3を補助 (定期券なし)</td> <td>31.4%</td> <td>51.4%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table> ・令和2年8月分以降 <table border="1" data-bbox="1081 1109 1910 1340"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・保護者が住民税非課税)</td> <td>14.9%</td> <td>13.1%</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>②学期定期券購入額相当分の1/2を補助 (定期券あり・保護者が住民税課税)</td> <td>64.6%</td> <td>70.2%</td> <td>73.0%</td> </tr> <tr> <td>①学期定期券購入額相当分の1/4を補助 (定期券なし)</td> <td>20.5%</td> <td>16.7%</td> <td>13.8%</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	申請者実人数	222人	203人	183人	合計補助金額	22,362,400円	17,383,700円	15,459,500円	郵送料	32,000円	32,000円	36,000円		R2	R3	R4	①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円以下)	50.9%	34.2%	50.0%	②学期定期券購入額相当分の2/3を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円超)	17.7%	14.4%	0.0%	①学期定期券購入額相当分の1/3を補助 (定期券なし)	31.4%	51.4%	50.0%		R2	R3	R4	①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・保護者が住民税非課税)	14.9%	13.1%	13.2%	②学期定期券購入額相当分の1/2を補助 (定期券あり・保護者が住民税課税)	64.6%	70.2%	73.0%	①学期定期券購入額相当分の1/4を補助 (定期券なし)	20.5%	16.7%	13.8%	学校教育課
	R2	R3	R4																																																	
申請者実人数	222人	203人	183人																																																	
合計補助金額	22,362,400円	17,383,700円	15,459,500円																																																	
郵送料	32,000円	32,000円	36,000円																																																	
	R2	R3	R4																																																	
①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円以下)	50.9%	34.2%	50.0%																																																	
②学期定期券購入額相当分の2/3を補助 (定期券あり・世帯住民税額211,000円超)	17.7%	14.4%	0.0%																																																	
①学期定期券購入額相当分の1/3を補助 (定期券なし)	31.4%	51.4%	50.0%																																																	
	R2	R3	R4																																																	
①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・保護者が住民税非課税)	14.9%	13.1%	13.2%																																																	
②学期定期券購入額相当分の1/2を補助 (定期券あり・保護者が住民税課税)	64.6%	70.2%	73.0%																																																	
①学期定期券購入額相当分の1/4を補助 (定期券なし)	20.5%	16.7%	13.8%																																																	

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 小中学校トイレ洋式化等整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>18,581</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 19,690</p> <p>補正予算額等 △ 1,109</p> <p>合計 18,581</p>	<p>18,128,000</p>	<p>小中学校の和式トイレの洋式化及び手洗いの自動水栓化を行い、学校生活環境の向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。</p> <p>○田原小学校 8,275,300 円 洋式化 16 基 自動水栓化 19 基</p> <p>○宇治田原小学校 9,852,700 円 洋式化 17 基 自動水栓化 15 基</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 家庭学習等支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.103)</p>	<p>1,200</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,393</p> <p>補正予算額等 △ 193</p> <p>合計 1,200</p>	<p>1,186,550</p>	<p>児童・生徒の学力向上のため、学校教員向けの「学校授業教育研究」、児童・生徒向けの「オンライン家庭学習支援」の2つの支援を実施し、学校・家庭と、異なる場での学力向上につながる事業を行った。</p> <p>【学校授業教育研究】 大学名誉教授に協力を依頼し、若手教員を主な対象として、指導力向上のための各種取り組みを実施。令和4年度は兵庫教育大学名誉教授の長澤教授に依頼。 ○取組例 ・町教育委員会主催の各小中学校への指導主事訪問実施の際に、アドバイザーの立場で参加をしてもらい、授業や学校運営に係る講習を行った。 ・小中学校の研究授業に招き、授業についての指導講評を行った。 ・全国学力状況調査の結果を受けて、分析や周知方法について教務主任への研修を実施した。</p> <p>【オンライン家庭学習支援】 民間教育機関に業務委託し(公募型プロポーザルにより決定)、パソコンやタブレットを用い、少人数指導型のオンライン授業を提供した。</p> <p>詳細 国語・算数の2教科、各60分を15回 パソコンやタブレットを用いZoomで受講 参加者負担 1人10,000円 参加人数 小学生9人、中学生6人</p> <p>全授業終了後に行ったアンケートでは、全員がとても満足している・少し満足していると回答されており、成績についても上がった・どちらかといえば上がったという回答が92%という結果であった。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課									
<p>4 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.103)</p>	<p>640</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">817</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">△ 177</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">640</td> </tr> </table>	当初予算額	817	補正予算額等	△ 177	合計	640	<p>639,100</p>	<p>町内小中学校の学習において、家庭学習を含め児童生徒の自主的・積極的な学びを応援した。</p> <p>〈内容〉 児童生徒1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。</p> <p>○AIドリルの活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の習熟度に応じて、基礎・基本の定着から表現力アップまで幅広く、個別最適化された学習環境を提供。 ・回答の正誤を自動で判断。誤った問題をピックアップし、解き直しによるつまずき解消へ。 ・やる気を引き出す仕組み。学習意欲を促進し、振り返りや自ら学習することを習慣化へ。 ・学習履歴をデータ化。学習状況・つまずきがひと目で把握できることにより、教職員による効果的できめ細やかな個別指導へ。 <p>〈台数〉</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">425 台</td> </tr> <tr> <td>うち田原小学校 208 台</td> </tr> <tr> <td>うち宇治田原小学校 217 台</td> </tr> </table>	425 台	うち田原小学校 208 台	うち宇治田原小学校 217 台	<p>学校教育課</p>
当初予算額	817												
補正予算額等	△ 177												
合計	640												
425 台													
うち田原小学校 208 台													
うち宇治田原小学校 217 台													

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 小中学校トイレ洋式化等整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>10,135</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10,135</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">10,135</td> </tr> </table>	当初予算額	10,135	補正予算額等	-	合計	10,135	<p>9,666,800</p>	<p>小中学校の和式トイレの洋式化及び手洗いの自動水栓化を行い、学校生活環境の向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。</p> <p>○維孝館中学校 9,666,800 円</p> <p>洋式化 17 基</p> <p>自動水栓化 14 基</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	10,135									
補正予算額等	-									
合計	10,135									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 家庭学習等支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>1,214</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,323</p> <p>補正予算額等 △ 109</p> <p>合計 1,214</p>	<p>1,199,430</p>	<p>児童・生徒の学力向上のため、学校教員向けの【学校授業教育研究】、児童・生徒向けの【オンライン家庭学習支援】の2つの支援を実施し、学校・家庭と、異なる場での学力向上につながる事業を行った。</p> <p>【学校授業教育研究】 大学名誉教授に協力を依頼し、若手教員を主な対象として、指導力向上のための各種取り組みを実施。令和4年度は兵庫教育大学名誉教授の長澤教授に依頼。 ○取組例 ・町教育委員会主催の各小中学校への指導主事訪問実施の際に、アドバイザーの立場で参加をしてもらい、授業や学校運営に係る講習を行った。 ・小中学校の研究授業に招き、授業についての指導講評を行った。 ・全国学力状況調査の結果を受けて、分析や周知方法について教務主任への研修を実施した。</p> <p>【オンライン家庭学習支援】 民間教育機関に業務委託し(公募型プロポーザルにより決定)、パソコンやタブレットを用い、少人数指導型のオンライン授業を提供した。</p> <p>詳細 国語・算数の2教科、各60分を15回 パソコンやタブレットを用いZoomで受講 参加者負担 1人10,000円 参加人数 小学生9人、中学生6人</p> <p>全授業終了後に行ったアンケートでは、全員がとても満足している・少し満足していると回答されており、成績についても上がった・どちらかといえば上がったという回答が92%という結果であった。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>4 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>397</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当初予算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">397</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">397</td> </tr> </table>	当初予算額	397	補正予算額等	-	合計	397	<p>299,200</p>	<p>町内小中学校の学習において、家庭学習を含め児童生徒の自主的・積極的な学びを応援した。</p> <p>〈内容〉 児童生徒1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。</p> <p>○AIドリルの活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の習熟度に応じて、基礎・基本の定着から表現力アップまで幅広く、個別最適化された学習環境を提供。 ・回答の正誤を自動で判断。誤った問題をピックアップし、解き直しによるつまずき解消へ。 ・やる気を引き出す仕組み。学習意欲を促進し、振り返りや自ら学習することを習慣化へ。 ・学習履歴をデータ化。学習状況・つまずきがひと目で把握できることにより、教職員による効果的できめ細やかな個別指導へ。 <p>〈台数〉</p> <p style="text-align: right;">199 台</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	397									
補正予算額等	-									
合計	397									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>5 先端プログラミング教育推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>966</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">966</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">966</td> </tr> </table>	当初予算額	966	補正予算額等	-	合計	966	<p>897,600</p>	<p>学習指導要領の改正により中学校においては、令和2年度よりプログラミング教育が必修とされた。 社会の様々なところでDX(※1)化が進展する中、中学校の授業においてSTEAM教育(※2)を提供することにより、Society5.0に対応できる人材の育成を行った。</p> <p>〈内容〉 スクラッチを使いロボットによる自動車の自動運転をプログラミングするなどにより、社会の諸課題についてプログラミングの必要性を知り、プログラミング的思考を養った。</p> <p>〈対象者等〉 維孝館中学校1年生～3年生 総合的な学習の時間を活用(50分×2限)</p> <p>〈実施方法〉 プログラミング教室運営会社等に委託実施</p> <p>※1「DX(デジタルトランスフォーメーション)」は、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念。その内容は「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というもの ※2「STEAM教育」とは、“science, technology, engineering and mathematics” すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	966									
補正予算額等	-									
合計	966									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>6 ふるさと応援キャリア 教育事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>300</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">600</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">△ 300</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> </table>	当初予算額	600	補正予算額等	△ 300	合計	300	<p>40,000</p>	<p>町内の企業と連携し、ふるさと納税の返礼品を開発するなど、中学校生徒が授業をとおして、ふるさとへの愛着や誇り、まちづくりに関わろうとする自負の醸成や自分のキャリア形成を主体的に設計し、実現させていく力を育成した。</p> <p>〈内容〉 企業と連携し、ブレインストーミング等、共同的な学びをとおして商品開発の授業を行った。 令和4年度は、株式会社ヤマコーの協力で「プラダンの知名度を上げる商品開発」をテーマに授業を実施。</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	600									
補正予算額等	△ 300									
合計	300									

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 学びスイッチオン事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.107)</p>	<p>500</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">500</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> </table>	当初予算額	500	補正予算額等	-	合計	500	<p>419,128</p>	<p>プログラミングやものづくり等の講座を開催。論理的思考力や創造力を養うとともに、町内在住の人気クリエイターを講師とすることで、その人や技術に触れることでシビックプライドの醸成も図った。</p> <p>○「天然の蔓(つる)とレーザーカッターでつくるクリスマスリース作り体験」(クリエイティブ編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.12.3(土) 参加者18名(内、小学生10名) ・講師：上村千晶氏(工房kinoko) ・内容：講師指導によるクリスマスツリーの作成 <p>○「SDGsを学ぶ『ゲーム』を作ろう！(中級編)」(プログラミング編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.12.10(土) 参加者8名 ・R4.12.11(日) 参加者9名 ・講師：IT KiDS所属講師 ・内容：プログラミングソフト「Scratch」を使ったプログラミング操作の習得と、参加者のプログラミングによるSDGsをテーマとした「ゲーム」の作製。 <p>○「親子で初級プログラミング 初めてのパソコン体験～魚がいっぱい泳ぐきれいな海をつくろう～」(プログラミング編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5.2.23(木・祝)参加者 午前8名、午後8名 ・講師：企画財政課職員 ・内容：プログラミングソフト「Scratch」を使用したプログラミングの説明と実践指導。 	<p>社会教育課</p>
当初予算額	500									
補正予算額等	-									
合計	500									

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 生涯学習推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.107)</p>	<p>904</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,079</p> <p>補正予算額等 △ 175</p> <p>合計 904</p>	<p>640,705</p>	<p>少子高齢化、情報化社会の中で、一人ひとりが生きがいのある人生を過ごすことや自己学習の向上にむけて、「いつでも・どこでも・だれもが」学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習のまちづくりを推進した。</p> <p>○生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」開催 コロナ禍において中止となっていた各種講座等を再開。 人数制限や感染症対策を徹底し、実施した。 ・グリーンライフカレッジ・ことぶき大学開講式 264,000円 ・各種講座等指導者報償 101,224円</p> <p>○学社連携推進事業等助成 159,568円 学社連携推進団体及び地域子ども会に対して助成金を交付し、地域での学校外活動を支援するものであるが、コロナ禍により、一部を除き、多くが中止となった。</p> <p>○その他事務費 115,913円</p>	<p>社会教育課</p>

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 図書館de多文化コミュニケーション事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.109)</p>	<p>100</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当初予算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">100</td> </tr> </table>	当初予算額	100	補正予算額等	-	合計	100	<p>86,336</p>	<p>国籍や民族を問わず、国際交流の場としてボードゲームを活用したイベントを開催するとともに、外国語図書の整備を通して、相互理解を深めるための環境整備を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○子どもから大人まで幅広い年齢層が親しめる外国語図書(絵本)を整備。多文化理解の向上とともに外国語圏住民の図書館利用を図ることができた。</p> <p>(購入図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム語の絵本：20冊 ・中国語の絵本：10冊 ・その他日本語の本：3冊 <p>○年齢も言葉も関係なく楽しめる多文化交流事業として、ボードゲームを活用したイベントを開催。予想を上回る参加があった。</p> <p>※ボードゲームイベントで使用するゲームを6台購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：R4.11.26(土)、13:30～15:30 ・参加者：25人 (ベトナム人4人、アメリカ人2人、日本人子ども11人、日本人大人8人) <p>○国際交流という点で総務課と連携して事業を実施。外国人に対してアンケートを実施することで、外国人から見た町へのニーズを把握できた。(総務課実施)</p>	<p>社会教育課</p>
当初予算額	100									
補正予算額等	-									
合計	100									

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>3 子どもの言葉を育てる 絵本講座事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.109)</p>	<p>150</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当初予算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">150</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">150</td> </tr> </table>	当初予算額	150	補正予算額等	-	合計	150	<p>150,000</p>	<p>図書館事業における子育て支援の一環として、フィンランド教育の第一人者を講師に迎え、家庭でできる子どもの言葉や読解力を育むための読み聞かせ方法を学ぶ機会を提供した。</p> <p>〈日時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4. 8. 25(木)、14:00～15:10 参加者10組 <p>〈講師〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：メルヴィ・バレ氏、滝本氏(通訳) <p>〈内容〉</p> <p>講座はオンラインを通じて実施。講師が前もって用意した動画を視聴後、講師の解説、質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画の視聴 1本目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 想像力を働かせることの大切さ、子どもへの質問方法、話し言葉と読み書きについて、などを伝授。 ○動画の視聴 2本目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の選び方、読み聞かせ方、読み終えた後の質問の仕方など具体的に伝授。 ○オンライン(Zoom)による講師解説 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画の補足、具体的な絵を見て会話をする方法の解説。 ○質問コーナー 	<p>社会教育課</p>
当初予算額	150									
補正予算額等	-									
合計	150									

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 放課後児童健全育成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.111)</p>	<p>25,086</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">24,894</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">192</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">25,086</td> </tr> </table>	当初予算額	24,894	補正予算額等	192	合計	25,086	<p>22,421,451</p>	<p>勤務等により家庭での保育を受けることができない児童に対して、遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設 <ul style="list-style-type: none"> 田原児童育成施設 宇治田原児童育成施設(まるやま交流館) ○開所時間 <ul style="list-style-type: none"> 平日：下校時間～18：30 土曜日・学校休業日：7：30～18：30 ※土曜日合同開設 <ul style="list-style-type: none"> 4月～7月,1月～3月 宇治田原児童育成施設 8月～12月 田原児童育成施設 ・田原元気っ子クラブ <ul style="list-style-type: none"> 平均登録人数 52人 1日平均 29.6人<延べ人数 8,598人> 開設日数 251日 ・宇治田原元気っ子クラブ <ul style="list-style-type: none"> 平均登録人数 64人 1日平均 39.5人<延べ人数 11,463人> 開設日数 267日 ※1日平均人数は、両学童の開所日数(290日)で延べ人数を割って算出。 <p>(参考：R3年度利用実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田原元気っ子クラブ <ul style="list-style-type: none"> 平均登録人数 67人 1日平均 29.6人<延べ人数 8,482人> 開設日数 262日 ・宇治田原元気っ子クラブ <ul style="list-style-type: none"> 平均登録人数 70人 1日平均 34.8人<延べ人数 9,998人> 開設日数 269日 ※両学童の開所日数(287日) 	<p>社会教育課</p>
当初予算額	24,894									
補正予算額等	192									
合計	25,086									

(款)10 教育費 (項)5 保健体育費 (目)3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																
<p>4 小中学校給食費支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.113)</p>	<p>22,584</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">22,584</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">22,584</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	22,584	合計	22,584	<p>21,120,020</p>	<p>物価高騰による保護者の経済的負担を軽減するための緊急的な措置として、2・3学期の給食費全額及び1～3学期の物価高騰分を町が負担した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助期間 2・3学期給食期間 小学校 2学期77日、3学期49日 中学校 2学期72日、3学期47日 ○補助対象 <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 30%;">田原小学校</td> <td style="width: 30%;">児童延べ食数</td> <td style="width: 40%;">2学期15,613食</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童延べ食数</td> <td>3学期10,053食</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">計25,666食</td> </tr> <tr> <td>宇治田原小学校</td> <td>児童延べ食数</td> <td>2学期16,305食</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童延べ食数</td> <td>3学期10,512食</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">計26,817食</td> </tr> <tr> <td>維孝館中学校</td> <td>生徒延べ食数</td> <td>2学期13,900食</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生徒延べ食数</td> <td>3学期 8,158食</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">計22,058食</td> </tr> </table> ○給食費単価 小学校：260円 中学校：290円 物価高騰分20円 ○金額 給食費全額分(2・3学期) <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 30%;">田原小学校</td> <td style="width: 30%;">25,666食×260円</td> <td style="width: 40%;">=6,673,160円</td> </tr> <tr> <td>宇治田原小学校</td> <td>26,817食×260円</td> <td>=6,972,420円</td> </tr> <tr> <td>維孝館中学校</td> <td>22,058食×290円</td> <td>=6,396,820円</td> </tr> <tr> <td>物価高騰分(1～3学期)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,077,620円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 21,120,020円</td> </tr> </table> 	田原小学校	児童延べ食数	2学期15,613食		児童延べ食数	3学期10,053食			計25,666食	宇治田原小学校	児童延べ食数	2学期16,305食		児童延べ食数	3学期10,512食			計26,817食	維孝館中学校	生徒延べ食数	2学期13,900食		生徒延べ食数	3学期 8,158食			計22,058食	田原小学校	25,666食×260円	=6,673,160円	宇治田原小学校	26,817食×260円	=6,972,420円	維孝館中学校	22,058食×290円	=6,396,820円	物価高騰分(1～3学期)		1,077,620円			合計 21,120,020円	<p>学校教育課</p>
当初予算額	-																																																			
補正予算額等	22,584																																																			
合計	22,584																																																			
田原小学校	児童延べ食数	2学期15,613食																																																		
	児童延べ食数	3学期10,053食																																																		
		計25,666食																																																		
宇治田原小学校	児童延べ食数	2学期16,305食																																																		
	児童延べ食数	3学期10,512食																																																		
		計26,817食																																																		
維孝館中学校	生徒延べ食数	2学期13,900食																																																		
	生徒延べ食数	3学期 8,158食																																																		
		計22,058食																																																		
田原小学校	25,666食×260円	=6,673,160円																																																		
宇治田原小学校	26,817食×260円	=6,972,420円																																																		
維孝館中学校	22,058食×290円	=6,396,820円																																																		
物価高騰分(1～3学期)		1,077,620円																																																		
		合計 21,120,020円																																																		

〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 特定健康診査等実施事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.149)</p>	<p>10,760</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔</p> <p>当初予算額 10,760</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 10,760</p> <p>〕</p>	<p>8,876,323</p>	<p>国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)等の早期発見を目的とした特定健康診査を行い、メタボリックシンドローム及びその予備群とされた方に対して特定保健指導を実施した。</p> <p>○対象被保険者数 1,654人</p> <p>○受診者数 725人 (うち人間ドック受診者 177人)</p> <p>○受診率 43.8%</p> <p>○実施期間 令和4年7月～9月(予備月11月)</p> <p>※ 積極的な広報のほか、対象者被保険者にわかりやすい受診勧奨啓発ペーパーを追加送付。</p> <p>※ 未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p> <p>〈参考〉</p> <p>令和3年度</p> <p>○対象被保険者数 1,485人</p> <p>○受診者数 643人 (うち人間ドック受診者 156人)</p> <p>○受診率 43.3%</p> <p>○実施期間 令和3年7月～9月(予備月11月)</p>	<p>健康対策課</p>

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生活習慣病予防対策事業費 (歳入歳出決算書 P.149)	1,162 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 1,162 補正予算額等 - 合計 1,162 〕	591,754	国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)又はその予備群と判定された被保険者及び糖尿病り患の恐れがある方を対象に、町保健師による保健指導を実施した。 ◇特定保健指導(国基準) ○対象者 93人 うち積極的支援 16人、動機付け支援 77人 ○当該年度中の実施者 29人 うち積極的支援 3人、動機付け支援 26人 ○次年度での継続指導を含む実施率 48.5% ※ リスク発症者への積極的な働きかけにより、実施率の向上を図った。 ◇重症化予防保健指導(令和4年度より府基準) ○対象者 57人 ○実施者 36人 ○実施率 63.2% (参考) 令和3年度 ◇特定保健指導(国基準) ○対象者 86人 うち積極的支援 18人、動機付け支援 68人 ○当該年度中の実施者 20人 うち積極的支援 4人、動機付け支援 16人 ○次年度での継続指導を含む実施率 23.3%	健康対策課

〈 後期高齢者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】

(款)3 保健事業費 (項)1 健康保持増進事業費 (目)1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 後期高齢者健康診査費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.167)</p>	<p>5,359</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔</p> <p>当初予算額 5,359</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 5,359</p> <p>〕</p>	<p>5,219,380</p>	<p>高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査を実施した。</p> <p>○対象被保険者数 1,407人</p> <p>○受診者数 500人 (うち人間ドック受診者 61人)</p> <p>○受診率 35.5% (人間ドックを含む)</p> <p>○実施期間 令和4年7月～9月(予備月11月)</p> <p>※ 高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施事業等につなげるため、対象者全員に受診票を送付した。</p> <p>※ 未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p> <p>〈参考〉 令和3年度</p> <p>○対象被保険者数 1,360人</p> <p>○受診者数 423人 (うち人間ドック受診者 39人)</p> <p>○受診率 31.1% (人間ドックを含む)</p> <p>○実施期間 令和3年7月～9月(予備月10月)</p>	<p>健康対策課</p>

〈 介護保険特別会計 〉

【介護保険特別会計】

(款)1 総務費 (項)4 計画策定委員会費 (目)1 計画策定委員会費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 介護保険事業計画策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.193)</p>	<p>1,244</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 -</p> <p>補正予算額等 1,244</p> <p>合計 1,244</p>	<p>986,789</p>	<p>「介護保険法第117条」及び「老人福祉法第20条の8」の規定に基づき、本町における福祉施策に関する個別計画との整合を図るとともに、今後の高齢者福祉施策の推進や介護保険制度の円滑な運用の指針となる「宇治田原町高齢者介護・福祉計画(第9期介護保険事業計画、計画期間：令和6年度から令和8年度)」の策定に取り組んだ。</p> <p>○委員会開催(委員11名) 第1回(R4.12.12) ・計画の策定について ・住民アンケート調査について 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 2. 在宅介護実態調査</p> <p>第2回(R5.3.7) ・第8期宇治田原町高齢者介護・福祉計画進捗状況について 1. 令和4年度介護保険事業実施状況 2. 高齢者福祉事業実施状況</p> <p>○アンケート調査実施結果 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 対象：65歳以上の高齢者及び要支援認定者 回収：689名/1,000名(68.9%)</p> <p>・在宅介護実態調査 対象：在宅で生活している要介護1～5の認定者 回収：159名/277名(57.4%)</p> <p>◇宇治田原町介護保険事業計画等作成委員会の設置 介護保険事業計画及び老人福祉計画の作成に関して必要な事項を協議し、意見を具申するとともに、当該計画の進捗状況について検証を行う場。</p>	<p>福祉課</p>

〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 湯屋谷配水管更新事業費 (水道事業会計決算書 P. 27)	22,000 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 22,000 補正予算額等 - 合計 22,000 〕	10,610,600	湯屋谷地区への安定的な水道水の供給を行うため、老朽化した配水管を更新した。 〈概要〉 ○仮設配水管 φ 100mm L=173.4m ○配水管 φ 100mm L=143.1m 〈事業費推移〉 ・R1年度 10,536,900円 ・R2年度 19,447,490円(うちR1繰越2,860,000円) ・R3年度 4,070,000円	上下水道課

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 湯屋谷配水管更新事業費(繰越) (水道事業会計決算書 P. 27)	20,000 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 20,000 補正予算額等 - 合計 20,000 〕	16,210,700	湯屋谷地区への安定的な水道水の供給を行うため、老朽化した配水管を更新した。 〈概要〉 ○配水管 φ 100mm L=211.3m 〈事業費推移〉 ・R1年度 10,536,900円 ・R2年度 19,447,490円(うちR1繰越2,860,000円) ・R3年度 4,070,000円	上下水道課

〈 下水道事業会計 〉

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 公共下水道(管渠)整備 事業費</p> <p>(下水道事業会計決算書 P. 24)</p>	<p>108,600</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 148,600</p> <p>補正予算額等 △ 40,000</p> <p>合計 108,600</p>	<p>8,737,800</p>	<p>「快適な暮らしと自然を守る町」をめざして、住みよいまちづくりと田原川をはじめとする自然環境を守るため、管渠等の面整備工事及び舗装本復旧工事を実施し公共下水道整備に取り組んだ。</p> <p>〈内容〉 ・設計積算、工事監理支援業務 一式</p> <p>〈事業費推移〉 ・R1年度 177,314,200円 ・R2年度 112,477,100円 ・R3年度 91,742,200円</p>	<p>上下水道課</p>

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
2 公共下水道(管渠)整備事業費(繰越) (下水道事業会計決算書 P. 24)	149,400 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 149,400 補正予算額等 - 合計 149,400	138,723,800	「快適な暮らしと自然を守る町」をめざして、住みよいまちづくりと田原川をはじめとする自然環境を守るため、管渠等の面整備工事及び舗装本復旧工事を実施し公共下水道整備に取り組んだ。 <内容> ○管渠整備(面整備工事) <table border="1" data-bbox="1081 563 1744 828"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>面積(ha)</th> <th>延長(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工-4-1地区面整備工事</td> <td>9.61</td> <td>755.41</td> </tr> <tr> <td>工-4-2地区面整備工事</td> <td>4.60</td> <td>301.80</td> </tr> <tr> <td>工-4-3地区面整備工事</td> <td>1.88</td> <td>125.86</td> </tr> </tbody> </table> ・舗装本復旧工事 一式 <事業費推移> ・R1年度 40,129,280円 ・R2年度 80,284,900円 ・R3年度 176,210,200円	工事名	面積(ha)	延長(m)	工-4-1地区面整備工事	9.61	755.41	工-4-2地区面整備工事	4.60	301.80	工-4-3地区面整備工事	1.88	125.86	上下水道課
工事名	面積(ha)	延長(m)														
工-4-1地区面整備工事	9.61	755.41														
工-4-2地区面整備工事	4.60	301.80														
工-4-3地区面整備工事	1.88	125.86														